

国展工芸

への誘い

⑨

那霸大市

芹沢銈介



「沖縄」型絵染で表現

芹沢銈介（1895～1984）は柳宗悦の「工藝の道」や紅型の風呂敷に感銘を受けて、染色の道へ進んだ。紅型と和染の技法をもとに、図案、型彫りから染めまで一貫して行う『型絵染』の表現を追求し、1956年に重要無形文化財保持者に認定された。39年に初めて沖縄を訪ねた芹沢は、現地の自然や人々の暮らしを取材したスケッチ帖を持ち帰り、型絵染で華やかに表現した。

（益子陶芸美術館・松崎裕子）

「90回記念国展工芸沖縄展—黎明から現代—匠の系譜」は10月20日まで。月曜休館。県立博物館・美術館美術館企画展示室。入場料は一般120円、小中高500円。未就学児無料。